

宮作便り 第11号

平成16年12月30日発行

入社三十年

常務 大滝久夫

昭和四十九年十月二十三日 旧商号 宮本作左工門商店に入社。この年大阪で新聞配達途中具合が悪くなり店主の保険証を借り阪大病院へ、栄養失調が一要因で、黄疸と診断され、2年振り一月九日に急遽帰郷、寝袋にリユックを担ぎ村上駅を降りて真っ直ぐ村上病院へ、其の儘入院と言ったがベットが空かずこれまた2年振りの我が家へ、夜電話を貰い翌朝、即入院(親は覚悟していた様だ)三月二十日命拾いし無事退院。6月位からバイトで木こり。パルプ材の雑木伐採、枝打ち中、プロのナタ さすがに切れる、切れ味抜群で若さなのか勢い余って作業ズボンのみならず自分の足まで切ってしまいO田医院で7針縫い、自宅療養していたところ、現J Aにいがた岩船S課長に勧められ日当3千円で入社したが、今日に至り、三十年の月日が経っていました。

この年、日石村上国道給油所が営業開始、当時 配送部に所属し、市内配達は、ダットサントラック一台で冬は灯油、プロパンガス巡回も行い、市外配達は、2トントラック

で山北から荒川、関川、時々小国まで、農協を核とした石油製品販売と土建屋さん、一部左官屋さん、セメント、生し番線、釘等金物類の配達がメインで今程、仕事量も顧客も多くなかったようだ。

常務の50年代初め頃



昭和五十年代初めこの地域も住宅新築が活発になり新建材、石油給湯機UIB、ポリバス、鋼板ホーロー風呂、鋳物直焚風呂、ホーロー、アルミ、ステンの流れ台、石膏プラスタ、繊維壁、じゅらく壁等と新素材と共に生活様式が新時代へと変化し、郡部でも応接室が各家庭に間取りされる様になり、会社が始めて展示会を開催したのもこの頃、今では考えられない位、売れに売れた。

か景気を支えて来ているがITバブルと囁く人もいる。三十年は大きな節目なので、今一度原点に帰り、過去の成功に囚われず常に挑戦、挑戦する人のサポート役を果たして行こうと思う。焦らず、木の上に立つて見る親のように…。健康で大過なく過ごせたのも皆さんのお力添いと何よりも家族に感謝します。

座右の銘 人事を尽くして天命を待つ

大切なもの

石油部業務係長 菅原孝一

今年はいラク戦争また世界的な自然災害が続きそんな中、新潟中越地震が発生、各地の災害情報が見えます。映像の中で住民の避難生活や救助活動の様子や声を聞くたびに、同じ人間として他人事とは思えず涙した事もありました。

また、そんな中レスキュー隊・自衛隊・地域の皆さんの「ガンバレ」「大丈夫」「もう少し」といった被災者に対する掛声、言葉は生きる事・生活する事に必死な子の時に大きな励みになったと思います。

在、言葉は毎日の生活の中で人間関係に大きな力を持っています。相手の話を聴き自分の気持ちを引きちんと話すことができれば、互いの絆も深まるかもしれません。私も家族四人、村上で生活していますが互いの思いやりや心のゆとり、また言葉のすれ違いがなかったら蒲葡を離れる事もなかったでしょう。

「冬の声音」

国道給油所 貝沼誠司

暦も十二月に変わり、テレビの天気予報にも雪ダルママークが北海道から北日本を我が物顔で征服し、周りの高い山々にも白い雪が目立って来ました。今年は昨年には比べると二日ほど遅い。

普通の人には「また寒くなって嫌な季節が来たなあ」と思いますが、私にとってはあの冷えた朝の乾いた空気と初雪が降った山の情景が一番大好きです。

なぜかと言うと、自然の厳しさと生命の尊さがみられるという所でしょうか。後は音です。職場上ですがタイヤ交換で賑わうスタンド内のインパクトの音、それに平行し

て客を送り迎えるスタッフの声と活気さで感じます。

皆さんはどんな時に季節感を感じますか。

体は正直もの

総務経理部 河内順子

この頃夜遅くまで起きていたらなくなってきた。まず一番に目が疲れてくるのだ。以前の健康診断で目の再検査を受けて以来、今は三ヶ月に一度眼科健診を受けている。

しかし何ら変わりなし。数年来使っていたコンタクトレンズも医師から「目が見えなくなりですよ」と驚かされ止めている。元来体質的に目は弱い方だ。

年齢と共に肌に潤いがなくなると同様、目も潤いがなくなり傷がつきやすく負担がかかり諸症状が出て来ているらしい。とりあえず、これ以上悪くならないようにして定期的検査を受けている。病院へ行き長時間待たされていると、ここで待たされていることが自分ではない様な感じがしてきて早く立ち去りたい気分になり、痛いのも痛くなくなった感じがしてくる。

だが実は体はそうは言ってはならないのであろう。確実に年齢に

合った症状が出てきているのだと認めざるを得ない。

何事もまず今の状態・、状況を受け入れ上手に付き合ひ、この先どうすべきか、どう過ごすかを考えて行きたい。

建材部 中山清子

二〇〇四年も終わろうとしている。今年の漢字は『災』。本場に数々の災害や事件が起きた。しかし、オリンピックイヤーだった今年、日本人の活躍はすこかった！メダルラッシュに沸きました。日本人の海外組もいろんな記録を達成してくれました。その中の一人、イチロク選手に小学生が質問するトークショウをテレビで見ました。

バッジャー新記録！
年間262安打



「小学生の頃どんな練習をしていましたか？」の質問にイチロク選手は「どんな練習よりも毎日宿題をしないさい。自分の嫌な事苦手な事を毎日こつこつとやる、そついつ力が試合をしていて必ずある苦しい時の力になれる」と答えています。朝の早い時間だった為、我が家の子供達は見ていなかったのです。日々

嫌な事から逃げようとする子供達に本当に聞かせてやりたかった。そして私自身にも反省して頑張ろうと思う一言でした。

来年こそ！

設備工事部 熊倉朱美

皆さん毎日仕事お疲れ様です。早いものでまた一年が過ぎようとしています。去年の今頃、来年は「あれをしよう」「これをしよう」と思った事も今振り返ると「ん」と悩んでしまします。年末に今年出来なかった事を来年こそはと決意を新たにしますので毎年同じ事の繰返しです。

それでも今年は今まで興味のないものが対して興味を持つた事は、毎日の生活の中に楽しみが増え良かったと思つています。これからも毎年何かを見つければいいなあ・・・。

今年もあと残り僅かです。体に気を付け楽しく過ごし新しい年を元気に迎えましょう。

今、思う事

村上給油所 小川文恵

宮作に入社してから七年目になります。今一番おもうことは、良い職場、信頼できるスタッフ、恵まれた環境の中で働く事が出

来て幸せだなあと思ひます。

数え切れない程の失敗をしてきました。その度に周りに励まされ助けられて今日まで頑張る事が出来ました。時にはお客様に励まされて元気付けられる事もあります。

私が今こうして七年も働いてこられたのは、周りの人達のおかげだと感謝の気持ちで一杯です。これからは、してもらえばかりでなく周りの人に何かをしてあげられるようになりたいと思っています。

編集後記

今年みたいに様々なことがあり、テレビなどあまり見ない私でさえ見たり、聴いたりしました。皆様はどうでしたか？

二〇〇五年は皆様にとって良い年になりますようお祈りいたします。

次号は監査役・高橋充・飯沼崇志・高橋名津子・菅原浩幸・渡辺利博・五十嵐利幸さんに原稿をお願い致します。

岩澤栄子

